

# 大腸癌レジメン

## P-mab+mFOLFOX6療法（パニツムマブ＋フルオロウラシル＋レボホリナート＋オキサリプラチン）

### ◆治療スケジュール(1コース:14日間)◆

薬の名前	基本量 (mg/m <sup>2</sup> )	作用	時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	
パロノセトロンバッグ デキサート注	0.75mg 6.6mg	吐き気止めです	30分	↓														↓														
ベクティビックス注 生食	6mg/kg	抗がん剤です	60分	↓														↓														
オキサリプラチン注 5%ブドウ糖液	85mg/m <sup>2</sup>	抗がん剤です	2時間	↓	同時投与													↓	同時投与													
レボホリナート注 5%ブドウ糖液	200mg/m <sup>2</sup>	フルオロウラシルの 効果を高める薬です		↓															↓													
フルオロウラシル注 5%ブドウ糖液	400mg/m <sup>2</sup>	抗がん剤です	約5分	↓														↓														
フルオロウラシル注 5%ブドウ糖液	2400mg/m <sup>2</sup>	抗がん剤です	46時間	←→														←→														

☆ベクティビックス注は生理食塩液で希釈し、60分以上かけて点滴静注すること。

ただし、1回投与量として1,000mgを超える場合は生理食塩液で希釈して約150mLとし、90分以上かけて点滴静注する。

☆ベクティビックス注:インラインフィルター(0.2又は0.22ミクロン)を用いて投与すること。

※抗がん剤の影響が強く残っている場合は、投与間隔をあけることがあります。

雪の聖母会 聖マリア病院 薬剤部